

重点施策6 充実した人生を送るための生涯学習の振興

【施策方針】

八幡浜市教育委員会教育基本方針に基づき、生涯学習の観点に立ち生涯学習推進体制の整備に努め、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化・高度化する学習要求に対応する。

また、生涯を通して充実した学習活動を展開できるよう必要に応じて学習の機会・学習の場を提供するとともに、支援・協力する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 連合婦人会
- ② 連合青年団
- ③ P T A連合会
- ④ 生涯学習支援ネットワークの充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 連合婦人会

- 高齢化社会を迎え、女性の学習への在り方を考え、地位の向上に努めた。
- 青少年の健全育成を図るため、明るい家庭、社会づくりと環境の浄化に努めた。
- 各種団体との連携を密にし、女性のふれあいの場、活動の輪を広げるように努めた。
・令和3年度も、やわたはま国際MTBレースで八幡浜ちゃんぽん、市民健康マラソンでコンソメスープを作って参加者に振舞う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響のためレース等が中止となり実施できなかった。
・コロナ禍で多くの事業が中止となったが、感染対策に留意し、10月は保内文化のつどいへ参加し、年4回福祉施設訪問を行うなど、実施できた事業に積極的に取り組み、会長のもと3地区間の協力・交流を図り、明るい地域づくりに貢献することができた。

② 連合青年団

- 公民館ほか各種団体との連携を図り、地域の活性化に努めた。
- スポーツ活動・ボランティア活動等を通して、団員の団結力を強めるとともに、地域において社会教育を推進する人材育成に努めた。
・令和3年度も、やわたはま国際MTBレース、やわたはま秋のマウンテンカーニバルでのボランティアスタッフとしての参加を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響のためレース等が中止となり実施できなかった。
・そのような中、夏のスポーツ大会を秋に延期して開催したほか、延期した令和2年度成人式及び令和3年度成人式も開催され、新成人を祝うアトラクションを実施し好評を得た。
・1月以降は新型コロナが急拡大し、ザ・チャレンジは実施することができなかったが、

コロナ禍にあっても感染対策をして団員間の交流に努め、地域との連携に貢献するための団結の意識を確認することができた。

③ P T A 連 合 会

- 会員の質的な充実を図るため、P T A 研修活動(講演会の実施)の充実に努めた。
- 地域の良さを生かしたP T A活動の推進に努めた。
- 教育諸条件の整備充実に努めた。
 - ・役員合同研修会(6/12)では幸田裕司氏を招いて、児童生徒を取り巻くSNSについて講演していただいた。P T A 研究大会(1/16)については、米澤晋也氏を招いて、「詰むから紡ぐへ～困難から未来を創る力～」という演題で講演いただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。ただし、米澤氏に依頼して、講演を録画し、八西C A T Vで放映して、P T A会員の研修に役立てた。放送を見ることができなかった方には、録画DVDを貸し出して視聴してもらった。
 - ・年4回開講のP T A大学は、講話や体験学習を通して、子育ての不安や悩みを解消したり、自信を深めたりするとともに、学校の枠を超えた会員間の交流を図る機会となる活動であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月開講スタートを6月に延期し、年3回の開講とした。前年度、コロナ禍で開講できなかったため、1年ぶりの活動となり、充実した研修ができた。
 - ・コロナ禍にあって、まだまだ計画している全ての活動が実施できる状況ではないが、少しずつ、工夫しながら、事業を再開することが出来た前向きな一年となった。

④ 生涯学習支援ネットワークの充実

- 「浜っ子人材銀行」と「浜っ子サークル銀行」の発行(隔年更新)をしており、地区公民館をはじめ関係機関への配布を行うとともに、八幡浜市公式ホームページにも掲載し、広く市民に周知するなど、学習活動の支援を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- コロナ禍で多くの生涯学習事業を中止せざるを得なかったことは大変残念であるが、開催できた事業等を通して、お互いの交流・協力や活動を深め合うことができたので、良かったと思う。
- 連合婦人会でも「保内文化のつどい」「福祉施設訪問(4回)」等、実施できた事業を通して、3地区間の協力や交流を図り、明るい地域づくりに貢献できたことは大変良かった。
- 連合青年団でもスポーツ大会を夏から秋に延期して開催したほか、成人式も開催でき、アトラクションを実施するなど、その場を盛り上げて好評を博した。そして、団員間の交流や地域との連携等が確認できたことは、更なる飛躍が期待される。
- P T A 研究大会は中止になったが、録画した講演内容を八西C A T Vで放送し、さらにそのDVD録画を貸し出したことは工夫の賜であると思う。
- 婦人会員の高齢化が見受けられる。青年団でも女性の入会が減少しているようで、先行きを危惧する。会員増の方策を考えねばならないと思う。

【自己評価】

○ 全国的に婦人会、青年団の会員数が減少している中、本市においても会員数をできるだけ維持し地域貢献を目指した活動を継続している。特に、成人式では、延期された令和2年度・令和3年度式典が1/2・1/3に連続開催され、青年団が企画するアトラクションで新成人をお祝いし、会場の雰囲気をもたせたことが印象的であった。引き続き、団体の特徴や会員の個性を生かした多種多様な活動を企画PRするほか、県内市町の青年・婦人団体との交流を企画し、会員数の増加・団体の活性化に努めたい。

○ PTA活動においては、市PTA連合会活動方針に基づき、児童生徒の健全育成、会員の意識と連帯感の向上、人権教育の充実等の取り組みを計画した。コロナ禍にあつて、計画を立てた全ての活動が実施できる状況ではなかったが、事務局と本部役員が協議を重ね、少しずつ、工夫しながら、事業を再開した前向きな一年であった。次年度以降、ウィズコロナ又はアフターコロナを見据え、学校の枠を超えた会員間の交流及び研修活動の充実に取り組むたい。

市PTA連合会事務局として、引き続き、市PTA連合会本部役員の意向や単位PTAの意見を十分に生かした運営・改善に努めていきたい。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響下での活動であったが、地区公民館での生涯学習推進事業や小学校PTAでの愛護班事業など、感染状況を見極め、かつ対策を講じて実施していただき、学校・家庭・地域が連携した成果であった。

少子・高齢化、また、多様・高度化する社会の中で、中央公民館及び地区公民館のほか、各社会教育施設を生涯学習活動の拠点として、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化に対応できるよう努めたい。そのためのツールとして、「浜っ子人材銀行」「浜っ子サークル銀行」等を活用した生涯学習・生涯スポーツの紹介・周知を継続し、市民のニーズに応え、生涯学習の推進、振興を図りたい。